SONY®

2-674-392-01 (1)

メモリースティック ビデオレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

操作前に別冊「クイックスタートガイド」をご覧ください。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「クイックスタートガイド」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめに

録画・予約する

対応機器で再生する

設定を変更する

故障かなと思ったら

その他

MSVR-A10

⚠警告　安全のために

41 ～ 47ページも合わせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、お客様ご相談センターにご相談ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

➡

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お客様ご相談センターに連絡する

裏表紙に**お客様ご相談センターの連絡先**があります。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

風呂･シャワー室での使用禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

はじめに

本機で使用できる"メモリースティック"（別売）

本機で使用するIC記録メディアはデュオサイズの"メモリースティック"です。"メモリースティック"のサイズには2種類あります。

デュオサイズの"メモリースティック"：本機で使用可能です。

標準サイズの"メモリースティック"：本機では使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

- デジタル放送など、コピーワンス番組を録画するには、"メモリースティック PRO デュオ"が必要です。
- 本機で使用できる"メモリースティック"について詳しくは、11ページをご覧ください。
- "メモリースティック"について詳しくは、48ページをご覧ください。

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に"メモリースティック"に録画されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

本機や"メモリースティック"などを使用中、万一これらの不具合により録画されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録画防止機能について

別売のチューナーやDVDレコーダーなどの録画機器などを接続して録画する場合、放送局側で録画禁止が設定されている番組の録画はできません。また、録画防止機能（コピーガード）のついているソフトウェアからの録画もできません。

再生について

本機は録画専用機です。再生機能はありません。

録画について

- 本機はチューナーを搭載していません。映像出力のできる機器を接続してご使用ください。
- "メモリースティック"の録画可能時間をご確認のうえ、録画してください。

ファイル（番組）の削除について

本機は録画専用機です。録画したファイルの削除は"PSP"などのメモリースティックビデオフォーマット対応機器で行ってください。または本機でフォーマット（31ページ）してください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

メニュー画面や静止画などをテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特に、プラズマディスプレイパネルテレビや液晶テレビなどは、残像現象が起こりやすいため、ご注意ください。

画面表示について

テレビによっては画面表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

はじめに 3
目次 5
主な特長 6
各部のなまえ 8
録画･予約する 11
録画･予約するまえに 11
準備する 16
シンクロ録画する 19
予約録画する 21
クイックタイマー録画する 24
手動録画する 26
対応機器で再生する 28
録画した番組を“PSP”で再生する ... 28
設定を変更する 30
初期設定を変更する 30
設定項目の一覧 31
故障かなと思ったら 33
その他 39
使用上のご注意 39
“メモリースティック”について 48
“メモリースティック”
使用上のご注意 49
主な仕様 51
商標について 53
保証書とアフターサービス 54

主な特長

本機を使って“メモリースティック”に番組を録画し、“PSP（PlayStation Portable）”で再生することができます。

DVDレコーダーなどの録画機器、外部チューナーなどを接続して、デュオサイズの“メモリースティック”にTV番組を簡単に録画し、“PSP”などのメモリースティックビデオフォーマット（MPEG-4 AVC）対応機器で再生することができます。

本機はACアダプターを接続することで、電源の入切にかかわらず、入力1に入れた信号を出力1から、入力2に入れた信号を出力2から常に出力します。出力1と出力2の両方からそれぞれの入力信号を出力します。今お使いのテレビと録画機器の間に本機を接続することで、テレビや録画機器の操作方法はそのままに“メモリースティック”へ簡単に番組を録画することができます。

録画

シンクロ録画（19ページ）

番組予約録画機能の付いた機器*と連動して、予約録画できます。番組予約録画機能の付いた機器の予約録画にしたがって、自動的に録画を開始、終了します。

* BS/CSチューナー、ケーブルテレビ（CATV）チューナー、ビデオデッキ、BSデコーダー（WOWOW）など。

予約録画（21ページ）

録画したい番組の日時を設定して、予約録画できます。予約録画は、1ヶ月先まで設定することができます。

クイックタイマー録画（24ページ）

30分～3時間まで、決めた時間だけ録画できます。

手動録画（26ページ）

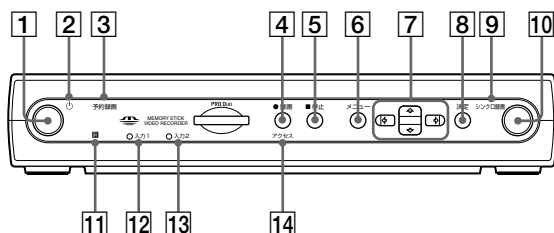
テレビ画面に映っている番組をすぐに録画できます。

記録方式

MPEG-4 AVC

MPEG-4 AVC（MPEG-4 Part 10 Advanced Video Coding）と呼ばれる次世代動画圧縮技術。国際標準化団体であるMPEG、ITU-Tとの共同標準化組織JVT（Joint Video Team）で策定され標準化された、MPEG4動画の高圧縮デジタル符号化技術です。
従来のMPEG2やMPEG4と比較して約2倍の圧縮率となっており、同ビットレートでより高画質な動画を得ることが可能になります。

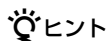
各部のなまえ

本機前面

1 ⏻（電源）ボタン
電源の入/切を行います。

2 電源ランプ
電源を入れると緑色に点灯します。

3 予約録画ランプ
予約録画の待機/録画中に赤色に点灯します。エラー発生時には「9 シンクロ録画ランプ」と連動して早く点滅します。

4 ●（録画）ボタン
本機に入力中の映像を録画します。

5 ■（停止）ボタン
録画を停止します。
また、「メニュー」画面では操作をキャンセルして、「メニュー」画面を閉じます。

ヒント
シンクロ録画の停止は10で行ってください。

6 メニューボタン
「メニュー」画面を表示します。

7 ↑/↓/←/→ボタン

8 決定ボタン

9 シンクロ録画ランプ
シンクロ録画待機中/シンクロ録画中に赤色に点灯します。エラー発生時には「3 予約録画ランプ」と連動して早く点滅します。

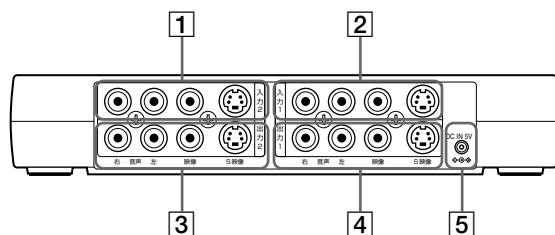
10 シンクロ録画ボタン
シンクロ録画待機に入ります。
また、シンクロ録画待機を解除/シンクロ録画を停止します。

11 🅁（リモコン受光部）
リモコンはこの 🅁（リモコン受光部）に向けて操作します。

12 入力1ランプ
「入力切換」で入力1が選ばれているときにオレンジ色に点灯します。録画中は入力1を録画しているときに点灯します。

13 入力2ランプ
「入力切換」で入力2が選ばれているときにオレンジ色に点灯します。録画中は入力2を録画しているときに点灯します。

14 アクセスランプ
録画中に赤色に点灯します。
また、“メモリースティック”にアクセスしているときには早く点滅します。
録画できない番組を録画しようとしたときにはゆっくり点滅します。

本機背面

1 入力2 音声/映像/S映像端子

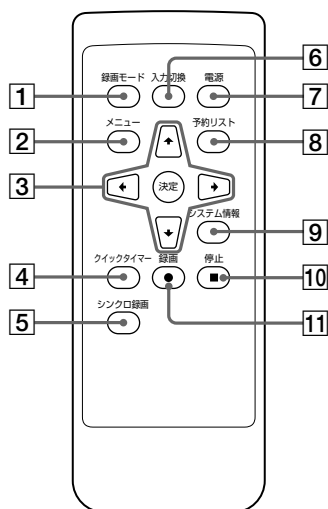
2 入力1 音声/映像/S映像端子

3 出力2 音声/映像/S映像端子

4 出力1 音声/映像/S映像端子

5 DC IN 5V端子

次のページにつづく

リモコン

1 **録画モードボタン**
「録画モード」画面を表示します。

2 **メニューボタン**
「メニュー」画面を表示します。

3 **⬆/⬇/⬅/➡/決定ボタン**

4 **クイックタイマーボタン**
「クイックタイマー」画面を表示します。

5 **シンクロ録画ボタン**
シンクロ録画待機に入ります。
また、シンクロ録画待機を解除/シンクロ録画を停止します。

6 **入力切換ボタン**
「入力切換」画面を表示します。

7 **電源ボタン**
電源の入/切を行います。

8 **予約リストボタン**
「予約リスト」画面を表示します。

9 **システム情報ボタン**
「システム情報」画面を表示します。

10 **■(停止)ボタン**
録画を停止します。
また、「メニュー」画面では操作をキャンセルして、「メニュー」画面を閉じます。

ヒント
シンクロ録画の停止は5で行ってください。

11 **●(録画)ボタン**
本機に入力中の映像を録画します。

録画・予約する

録画・予約するまえに

本機を使って録画・予約するまえに以下の項目をご確認ください。

録画に使える“メモリースティック”

本機でご使用できる“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”の種類		アナログ放送番組、その他の映像の記録	デジタル放送番組の記録
デュオサイズ	“メモリースティック PRO デュオ”	○	○
	“メモリースティック デュオ*”	○	×

* “メモリースティック デュオ(マジックゲート非対応)”、“メモリースティック デュオ(マジックゲート対応)”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”

ご注意

- デュオサイズの“メモリースティック”をご使用ください。本機では標準サイズの“メモリースティック”を使用できません。
- デジタル放送など、コピーワンス番組を録画するには、”メモリースティック PRO デュオ”が必要です。
- 本機では2GB(MSX-M2GNU)までのソニー製“メモリースティック”で動作確認を行っています(2006年4月現在)。本機でご使用できる“メモリースティック”の最新情報は下記URLにてご確認いただけます。http://www.sony.co.jp/mstaiou

録画可能時間について

“メモリースティック PRO デュオ”の容量と録画モードに対する録画可能時間は以下のとおりです。

録画可能時間

“メモリースティック PRO デュオ”の容量	録画モード	録画可能時間
256MB	AVC QVGA 768k	00h30m
	AVC QVGA 384k	00h55m
512MB	AVC QVGA 768k	01h10m
	AVC QVGA 384k	02h00m
1GB	AVC QVGA 768k	02h20m
	AVC QVGA 384k	04h10m
2GB	AVC QVGA 768k	04h50m
	AVC QVGA 384k	08h30m

ヒント

録画モードによって画質が異なります。美しく録画するにはAVC QVGA 768kを、長く録画するにはAVC QVGA 384kを選んでください。

ご注意

- 上記の録画可能時間は参考値であり、動作を保証するものではありません。録画する映像やコピー防止信号によって、録画可能時間は増減します。
- お使いになる“メモリースティック”の録画可能時間を確認するには、「“メモリースティック”の録画可能時間を確認する」(18ページ)をご覧ください。

コピーワンス放送について

放送や映像ソフトには、内容の複製を防ぐために、コピー防止信号が含まれているものがあります。この信号の種類により、本機の録画対象は、「録画制限なし」、「1回だけ録画可能」、「録画禁止」の3種類に分かれます。
種類ごとに録画できる"メモリースティック"が異なります。
録画に使える"メモリースティック"について詳しくは、「録画に使える"メモリースティック"」(11ページ)をご覧ください。

	コピー防止信号の種類		
	録画制限なし（信号なし）	1回だけ録画可能（コピーワンス放送）*	録画禁止
放送や映像ソフトの例	• 地上アナログ放送 • BSアナログ放送 • ビデオデッキなどのアナログ信号 • CS放送	• 地上デジタル放送 • BSデジタル放送 • 110° CSデジタル放送 • CS放送	• 市販のDVDソフト（DVDビデオ） • CS放送 • BSデジタル放送の一部
録画できるメモリースティック	• "メモリースティック PRO デュオ" • "メモリースティック デュオ"**	"メモリースティック PRO デュオ"	録画不可

* DVDレコーダーなどの録画機器に1度録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機で録画できません。

** "メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）"、"メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"

ヒント

- コピー防止信号の種類と"メモリースティック"の組み合わせによって、作成されるファイル数が異なります。
- コピーワンス放送を録画したファイルは、録画に使用した"メモリースティック PRO デュオ"でのみ再生できます。

ご注意

- コピーワンス放送の番組のファイルは、メモリースティックビデオフォーマット対応機器（"PSP"など）以外の機器で削除しないでください。削除していない番組を再生できなくなることがあります。
- 本機で録画したファイルをパソコンなどで編集しないでください。パソコンでコピーや編集をしたデータは再生できないことがあります。

デジタル放送のコピーワンス番組を録画するには

DVDレコーダーなどの録画機器などに一度録画した番組を本機にダビングすることはできません。

ヒント

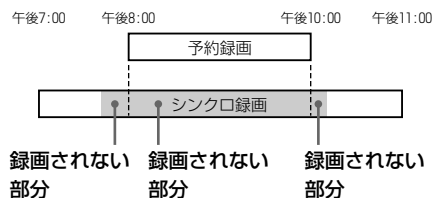
DVDレコーダーなどの録画機器などに録画せず、DVDレコーダーなどの録画機器などのチューナーを利用して本機に録画することはできます。

録画の優先順位について

シンクロ録画と予約録画が重なったときは

シンクロ録画と予約録画が重なったときは、予約録画が優先されます。

例：シンクロ録画中に予約録画が開始された場合

- 予約録画の開始１分前にシンクロ録画が停止して、予約録画を開始します。
- 予約録画中はシンクロ録画は録画されません。
- 予約録画の録画停止処理が終わると、再びシンクロ録画を開始します。

ヒント

- シンクロ録画中は予約録画ランプが消灯します。
- 予約録画中はシンクロ録画ランプが消灯します。

予約録画が他の録画と重なったときは

手動録画と予約録画が重なったときは

手動録画が優先されます。手動録画の終了後に本機の電源を切ると、予約録画を開始します。

クイックタイマー録画と予約録画が重なったときは

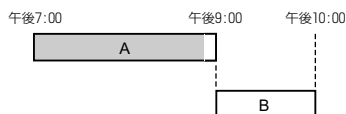
クイックタイマー録画が優先されます。クイックタイマーの時間を選び、決定ボタンを押すと、「予約録画時刻が重なっています。」が表示されたあと、クイックタイマー録画を開始します。クイックタイマー録画の終了後に予約録画を開始します。

録画・予約する

予約録画の時間が連続するときは

予約録画の時間が連続するときは、前に録画される番組の最後の1分間は録画されません。

例:番組Aの終了時刻と番組Bの開始時刻が同じ場合

番組Aの最後の1分間は録画されません。

準備する

本機を使って録画･予約するまえに、以下の手順にしたがって操作してください。なお、この取扱説明書ではリモコンを使って操作しています。本機のボタンを使って直接操作するときは、メニューボタンを押し、「メニュー」画面から各項目を選んでください。

1 **テレビの電源を入れて、本機の映像が映るようにテレビの入力を「ビデオ1」、「ビデオ2」、「外部入力」などに切り換える。**

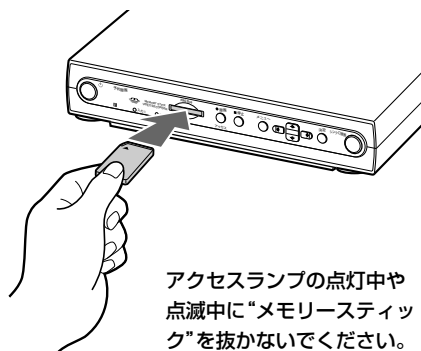
2 **電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

電源が入り、電源ランプが緑色に点灯します。

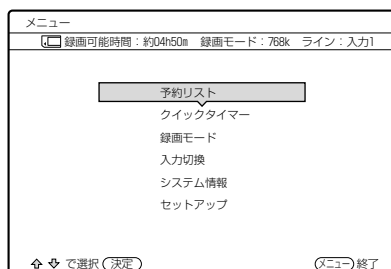
3 **録画したい番組がテレビに出力されているか確認する。**

本機に接続した録画機器や外部チューナーなどの映像がテレビに出力されているか確認してください。録画したい番組がテレビに出力されないときは、別冊の「クイックスタートガイド」で接続･設定をもう一度確認してください。

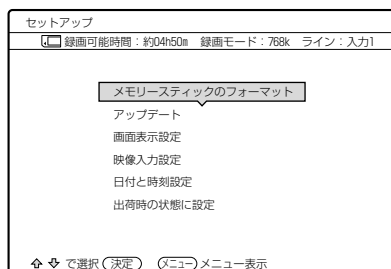
4 **本機に“メモリースティック”を入れる。**

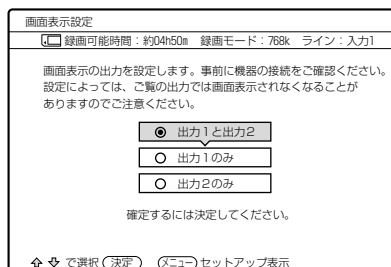
“メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

画面表示を設定する

メニュー画面表示の出力先を設定するには、以下の手順にしたがって操作してください。

1 メニューボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

2 ⬆/⬇で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 ⬆/⬇で「画面表示設定」を選び、決定ボタンを押す。

「画面表示設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

4 ⬆/⬇でメニュー画面表示の出力先を選び、決定ボタンを押す。

設定した画面表示設定は、1度本機のメニュー画面を閉じたあとから有効になります。

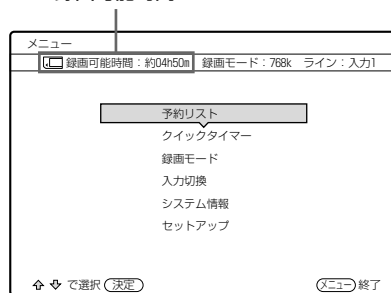
ご注意

- テレビを接続している出力に設定してください。テレビを接続している出力に設定しないと、設定画面がテレビに表示されなくなります。工場出荷時は「出力1と出力2」に設定されています。
- 他の録画機器に出力を接続している場合、本機のメニュー画面が録画されることがあります。本機のメニュー画面を録画したくないときは、テレビを接続している出力のみを設定してください（「出力1のみ」または「出力2のみ」に設定してください）。

“メモリースティック”の録画可能時間を確認する

本機で使う“メモリースティック”の録画可能時間を確認するには、以下の操作をしてください。

1 メニューボタンを押す。

「メニュー」画面左上に録画可能時間が表示されます。

ご注意

表示される録画可能時間は参考値であり、動作を保証するものでありません。録画する映像やコピー防止信号によって、録画可能時間は増減します。

録画・予約の準備が完了しました。つづいて録画・予約するには、以下のページをご覧ください。

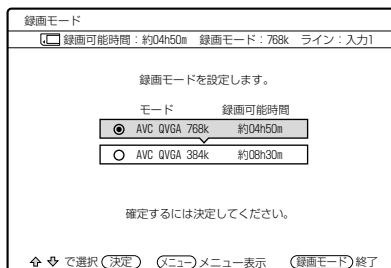
→**シンクロ録画する**（19ページ）
→**予約録画する**（21ページ）
→**クイックタイマー録画する**（24ページ）
→**手動録画する**（26ページ）

シンクロ録画する

番組予約録画機能の付いた機器(デジタルチューナー、CATVチューナー、ビデオデッキ、デジタルテレビ)を入力1端子に接続し、本機と連動して録画をすることができます。以下の手順にしたがって操作してください。

1 **「準備する」(16ページ)の手順1 ～ 4をする。**

2 **録画モードボタンを押す。**

「録画モード」画面が表示されます。

3 **↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。**

4 **番組予約録画機能の付いた機器側で番組予約をし、機器側の電源を切る。**

5 **シンクロ録画ボタンを押す。**

シンクロ録画待機に入り、シンクロ録画ランプが赤色に点灯します。シンクロ録画待機時に番組予約録画機能の付いた機器の電源が入ると、シンクロ録画を開始します。録画をしたくないときは、シンクロ録画待機を解除してください。

ヒント

- 本機の出力1に接続したテレビに録画したい番組が映っていることを確認してください。
- 1ファイルの最長記録時間は6時間30分です。録画が6時間30分を超えると、新しいファイルに継続して録画されます。新しいファイルに継続して録画される場合、新しいファイルへの録画開始には1分ほど時間がかかることがあります。
- シンクロ録画待機時に入力1へ映像信号が入力されると、シンクロ録画を開始します。入力1へ映像信号が入力されているときにシンクロ録画待機にすると、すぐに録画を開始します。
- シンクロ録画をするためには、番組予約録画機能のついた機器が録画時刻に映像信号を出力し、録画終了時刻に出力を終了する必要があります。

次のページにつづく

ご注意

- 番組予約録画機能の付いた機器によって、シンクロ録画できないことがあります。番組予約録画機能の付いた機器の取扱説明書をご覧ください。
- シンクロ録画は入力1にのみ対応しています(入力2には対応していません)。

シンクロ録画を解除/停止するには

シンクロ録画ボタンを押します。録画が解除/停止すると、シンクロ録画ランプとアクセスランプが消灯します。

予約録画する

予約録画をするには、以下の手順にしたがって操作してください。

1 「準備する」（16ページ）の手順1～4をする。

2 予約リストボタンを押す。

「予約リスト」画面が表示されます。

3 ⬆/⬇で「新規予約」を選び、決定ボタンを押す。

「予約録画設定」画面が表示されます。

4 ⬆/⬇/⬅/➡で予約日時・録画モード・入力ラインを設定し、⬅/➡で「確定」を選んで決定ボタンを押す。

5 電源ボタンを押して、本機の電源を切る。

予約録画待機に入り、予約録画ランプが赤色に点灯します。録画が始まると、アクセスランプが赤色に点灯します。

次のページにつづく

ヒント

- 予約録画をするときは、本機に接続した映像出力機器で録画したいチャンネルを選局し、電源を入れたままにしてください。
- 予約録画待機時に本機を使うときは、電源ボタンを押して本機の電源を入れます。予約録画待機に戻すには、電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。
- 1ヶ月先までの番組予約や、毎日、毎週などの繰り返し予約ができます。
- 10件まで予約ができます。本機に入っている"メモリースティック"の録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- 手順4で「入力1」を選択すると、本機の入力1に接続した機器の映像を録画します。本機の出力1に接続したテレビに映像(録画したい番組)が映っていることを確認してください(同様に、「入力2」を選択したときは入力2、出力2を確認してください)。
- デジタルチューナー内蔵テレビの番組を録画するときは、手順4で必ず「入力1」を選択してください。

ご注意

予約録画を設定したあと、必ず電源ボタンを押して、本機の電源を切ってください。電源が入った状態では、予約録画できません。

予約録画を停止するには

■(停止)ボタンを押します。録画が停止すると、アクセスランプが消灯します。

予約情報を修正するには

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

電源が入り、電源ランプが緑色に点灯します。

2 予約リストボタンを押す。

「予約リスト」画面が表示されます。

3 ↑/↓で予約リストから修正したい予約情報を選び、決定ボタンを押す。

「予約録画設定」画面が表示されます。

4 ↑/↓/←/→で予約日時・録画モード・入力ラインを設定し、「修正」を選んで決定ボタンを押す。

予約情報を削除するには

1 **電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

電源が入り、電源ランプが緑色に点灯します。

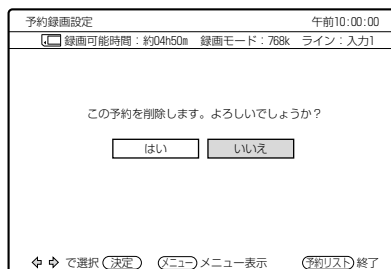
2 **予約リストボタンを押す。**

「予約リスト」画面が表示されます。

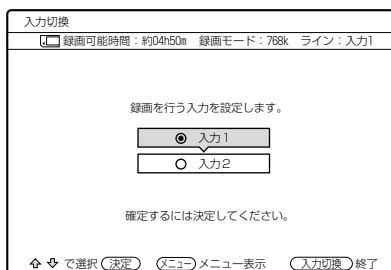
3 **↑/↓で予約リストから削除したい予約情報を選び、決定ボタンを押す。**

「予約録画設定」画面が表示されます。

4 **「削除」を選び、決定ボタンを押す。**

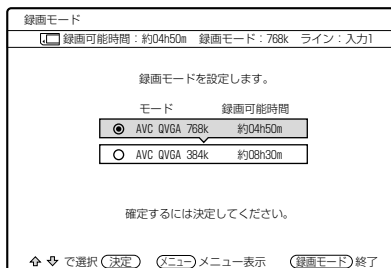
確認画面が表示されます。

5 **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

クイックタイマー録画する

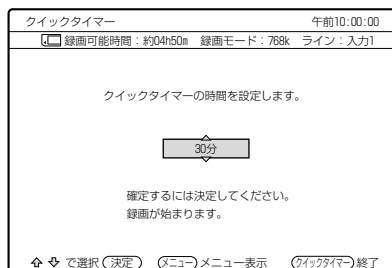
録画を行う時間を30分単位で最長3時間まで設定して、自動的に録画を停止することができます（クイックタイマー）。以下の手順にしたがって操作してください。

1 **「準備する」（16ページ）の手順1～4をする。**

2 **現在の設定を変更する場合は、入力切換ボタンを押す。**
「入力切換」画面が表示されます。

3 **⬆/⬇で録画したい入力を選び、決定ボタンを押す。**

4 **現在の設定を変更する場合は、録画モードボタンを押す。**
「録画モード」画面が表示されます。

5 **⬆/⬇で録画モードを選び、決定ボタンを押す。**

6 クイックタイマーボタンを押す。

「クイックタイマー」画面が表示されます。

7 ⬆/⬇で録画したい時間を選び、決定ボタンを押す。

録画が始まり、予約録画ランプとアクセスランプが赤色に点灯します。設定した時間が経過すると、自動的に録画が止まります。

ヒント

クイックタイマー録画をするときは、本機に接続した映像出力機器で録画したいチャンネルを選局し、電源を入れたままにしてください。

ご注意

録画中にクイックタイマーを設定することはできません。

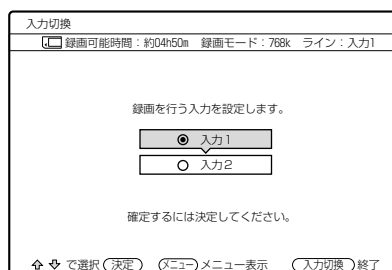
クイックタイマー録画を停止するには

■(停止)ボタンを押します。録画が停止すると、アクセスランプが消灯します。

手動録画する

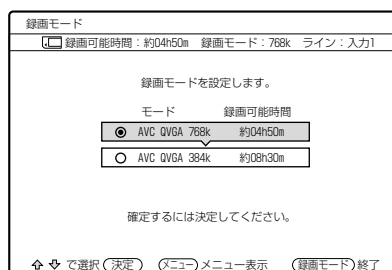
テレビ画面に映っている番組をすぐに録画するには、以下の手順にしたがって操作してください。

1 「**準備する**」(**16ページ**)**の手順1 ～ 4をする。**

2 **現在の設定を変更する場合は、入力切換ボタンを押す。**

「入力切換」画面が表示されます。

3 **↑/↓で録画したい入力を選び、決定ボタンを押す。**

4 **現在の設定を変更する場合は、録画モードボタンを押す。**

「録画モード」画面が表示されます。

5 **↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。**

6 **●**(**録画**)**ボタンを押す。**

録画が始まり、アクセスランプが赤色に点灯します。

ヒント

- 手動録画をするときは、本機に接続した映像出力機器で録画したいチャンネルを選局し、電源を入れたままにしてください。
- 手順3で「入力1」を選択すると、本機の入力1に接続した機器の映像を録画します。本機の出力1に接続したテレビに映像（録画したい番組）が映っていることを確認してください（同様に、「入力2」を選択したときは入力2、出力2を確認してください）。
- デジタルチューナー内蔵テレビの番組を録画するときは、手順3で必ず「入力1」を選択してください。
- 1ファイルの最長記録時間は6時間30分です。録画が6時間30分を超えると、新しいファイルに継続して録画されます。新しいファイルに継続して録画される場合、新しいファイルへの録画開始には1分ほど時間がかかることがあります。

録画を停止するには

■（停止）ボタンを押します。録画が停止すると、アクセスランプが消灯します。

対応機器で再生する

本機は録画専用機です。
本機で録画した番組は“PSP”などのメモリースティックビデオフォーマット(MPEG-4 AVC)対応機器で再生できます。再生可能な機器は、下記ホームページにてご確認ください。
http://www.sony.net/memorystick/support/

録画した番組を“PSP”で再生する

本機を使って“メモリースティック”に録画した番組を、“PSP(PlayStation Portable)”で再生することができます。“PSP”の操作については“PSP”に付属の取扱説明書をご覧ください。“PSP”に関する記載は2006年4月現在の内容です。

1 “PSP”の電源を入れ、ホームメニューから「ビデオ」を選ぶ。

2 “PSP”に本機で録画した“メモリースティック”をセットする。
“メモリースティック”のアイコンが表示されます。

3 “メモリースティック”のアイコンを選び、◎ボタンを押す。
録画したファイルの一覧が表示されます。

4 見たい番組を選び、◎ボタンを押す。

ヒント

- “PSP”のシステムソフトウェア バージョン 2.60以降に対応しています。常に最新のバージョンをご使用ください。
- “PSP”の動画ファイルの一覧で、本機で録画したファイルについて以下の項目が確認できます。
  - 本機型名
  - 動画ファイルの番号
  - COPY-NO-MORE(コピーワンス信号の番組の場合のみ表示)
  - 番組録画終了日と時刻

- コピーワンス放送を録画したファイルは、録画に使用した"メモリースティック PRO デュオ"でのみ再生できます。

ご注意

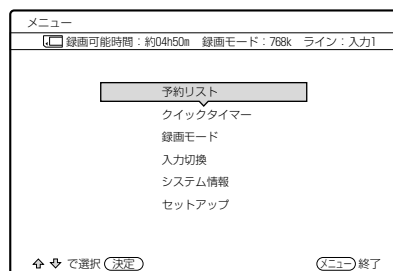
- コピーワンス放送の番組のファイルは、メモリースティックビデオフォーマット対応機器("PSP"など)以外の機器で削除しないでください。削除していない番組を再生できなくなることがあります。
- 本機で録画したファイルをパソコンなどで編集しないでください。パソコンでコピーや編集をしたデータは再生できないことがあります。

設定を変更する

初期設定を変更する

別冊「クイックスタートガイド」で設定した初期設定や、その他の設定を変更することができます。

1 メニューボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

2 設定したい項目や内容を選び、決定する。

設定項目と内容について詳しくは、「設定項目の一覧」(31ページ)をご覧ください。

各設定は、⬆/⬇/⬅/➡で選び、決定ボタンで決定します。1つ前の設定に戻るには、メニューボタンを押します。

ヒント

画面表示中に■(停止)ボタンを押すと、画面が閉じます。

設定項目の一覧

「メニュー」画面から以下の項目を設定することができます。

予約リスト

予約録画の設定や、予約情報の修正や削除をすることができます。
予約録画について詳しくは、「予約録画する」(21ページ)をご覧ください。

クイックタイマー

クイックタイマーの時間を設定することができます。
クイックタイマーについて詳しくは、「クイックタイマー録画する」(24ページ)をご覧ください。

録画モード

録画モードを設定します。
録画モードによって、録画可能時間が異なります。録画モードと録画可能時間について詳しくは、「録画可能時間について」(12ページ)をご覧ください。

入力切換

クイックタイマー録画、手動録画で録画を行う入力ラインを設定します。

入力1	入力1に接続した機器から録画します。
入力2	入力2に接続した機器から録画します。

システム情報

システムソフトウエアのバージョンや最近のエラー情報が表示されます。

セットアップ

以下の設定を行います。

メモリースティックのフォーマット

メモリースティックをフォーマット(初期化)します。

ご注意

- 本機以外でフォーマットしないでください。本機以外でフォーマットすると、正しく録画できなくなることがあります。
- "メモリースティック"のフォーマットを実行中は、"メモリースティック"を抜かないでください。

- すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”をフォーマットすると、すべてのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。なお、フォーマットによって損失したデータの補償はいたしかねます。
- 本機および“メモリースティック”などの不具合により、データが破損または消去された場合、データの内容の補償はいたしかねます。

アップデート

システムソフトウェアをアップデートします。

アップデート情報は下記ホームページにてご確認ください。

http://www.sony.net/memorystick/support/

画面表示設定

メニュー画面表示の出力先を設定します。

工場出荷時は「出力1と出力2」に設定されており、出力1と出力2の両方からメニュー画面が表示されます。

出力1と出力2	出力1と出力2の両方から出力します。
出力1のみ	出力1からのみ出力します。
出力2のみ	出力2からのみ出力します。

映像入力設定

接続した映像入力端子にあわせて設定します。

S映像コード(別売)で接続するときは、必ず「S映像」に設定してください。

映像	映像入力端子に接続したときに設定します。
S映像	S映像入力端子に接続したときに設定します。

日付と時刻設定

日付と時刻を設定します。

出荷時の状態に設定

「録画モード」「入力切換」「画面表示設定」「映像入力設定」「予約リスト」「日付と時刻設定」の各設定を出荷時の状態に設定します。

故障かなと思ったら

録画できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。それでも具合が悪いときは、お客様ご相談センターにご相談ください（裏表紙）。

電源

症状	原因/対策
電源ボタンを押しても電源が入らない。	→ ACアダプターと本機の接続が正しく行われているか確認する。 → シンクロ録画ランプが点灯しているか確認する。シンクロ録画中およびシンクロ録画待機時は電源ボタンの操作を受けつけない。 → 予約録画ランプが点灯しているか確認する。予約録画中およびクイックタイマー録画中は電源ボタンの操作を受けつけない。

録画・予約

症状	原因/対策
録画できない。録画ができていない。	→ "メモリースティック"が正しく入っているか確認する。 → "メモリースティック"の録画可能時間が足りない。 → "メモリースティック"の誤消去防止スイッチがLOCKになっていないか確認する。 → 映像に含まれているコピー防止信号によっては録画できない。 → 本機以外でフォーマットした"メモリースティック"には録画できない。本機でフォーマットする。 → 本機で認識できない"メモリースティック"を使っている場合、録画できない。 → アクセスランプの点灯中や点滅中に"メモリースティック"を抜いた。アクセスランプが消灯するまで"メモリースティック"を抜かない。 → 本機の入力に接続している機器の電源が入っていない。

次のページにつづく

症状	原因/対策
録画したのに映像や音声が入っていない。	→ 本機と接続する機器の設定および本機との接続を確認する。 → 「映像入力設定」の設定を確認する。 → 「入力切換」の設定を確認する。
録画した映像がコマ落ちする。	→ "メモリースティック"を本機でフォーマットする。
デジタル放送のコピーワンス番組が録画できない。	→ DVDレコーダーなどに1度録画した番組を本機にダビングすることはできない(14ページ)。 → 録画している"メモリースティック "の種類を確認する(13ページ)。
新規予約ができない。	→ 予約録画は最大10件までしか設定できない。予約情報を削除する。 → 1つの予約の録画時間が6時間30分以上に設定されている場合、予約を受け付けない。 → 予約録画時間は1分より長く設定する。 → 予約録画の時間が重複している。
予約録画したのに録画されていない。	→ 本機の電源を切り忘れた。予約録画の設定が終わったら、必ず本機の電源を切る。 → 停電があり、録画が止まった。 → 本機の時刻設定が正しいか確認する。正しくない場合は、時計を合わせ直す。
予約した内容が途中で切れている。	→ "メモリースティック"の録画可能時間が不足している場合は、番組の最後まで録画できない。 → 録画途中にコピー防止信号の入った番組に変わった場合、コピー防止信号によっては録画できない。 → 予約録画の時間が連続するときは、前に録画される番組の最後の1分間は録画されない(例:番組Aの終了時刻と番組Bの開始時刻が同じ場合、番組Aの最後の1分間は録画されない)。 → 時計がずれている。時計を合わせ直す。
予約したとおりに録画されない。	→ ACアダプターが接続されているか確認する。 → 本機の電源を切り忘れた。予約録画の設定が終わったら、必ず本機の電源を切る。 → 録画途中にコピー防止信号の入った番組に変わった場合、コピー防止信号によっては録画できない。 → 予約録画中に停電が起きて30分以内に回復した場合、回復時から録画が行われる。 → 同時刻に予約録画よりも優先度の高い録画を行った(14ページ)。

症状	原因/対策
“メモリースティック”が認識されない。	→ “メモリースティック”が正しくセットされていない。“メモリースティック”を1度取り出し、再度入れてみる。 → “メモリースティック”の端子部を綿棒などで清掃する。
録画可能時間が短い。	→ “メモリースティック”をフォーマットする。 → 録画途中にコピー防止信号の入った番組に変わった場合、コピー防止信号によっては録画できない。
シンクロ録画予約したのに録画されていない。	→ 接続機器を入力1端子に接続していない。シンクロ録画予約する機器は、必ず入力1端子に接続する。 → 接続機器側から映像信号が出力されなかった。機器側の設定を確認する。 → 予約録画が同時刻に設定されていた。シンクロ録画よりも予約録画が優先される（14ページ）。 → 録画途中にコピー防止信号の入った番組に変わった場合、コピー防止信号によっては録画できない。
シンクロ録画予約した内容が途中から始まる。	→ シンクロ録画予約が本機の録画や予約録画と重なっていた。 → 接続機器側から映像信号が出力されなかった。機器側の設定を確認する。 → 予約録画が同時刻に設定されていた。シンクロ録画よりも予約録画が優先される（14ページ）。 → 録画途中にコピー防止信号の入った番組に変わった場合、コピー防止信号によっては録画できない。
予約録画したのに予約録画ランプが点灯しない。	→ シンクロ録画中は予約録画ランプが消える。
シンクロ録画したのにシンクロ録画ランプが点灯しない。	→ 予約録画中はシンクロ録画ランプが消える。
録画した映像が乱れている。	→ 本機と接続する機器の入力映像を確認する。

次のページにつづく

映像

症状	原因/対策
映像が出ない。	→ 映像コードやS映像コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 → 映像コードやS映像コードが断線していないか確認する。 → 入力と出力を同じ映像コードやS映像コードで接続しているか確認する。 → テレビを本機接続の入力(「ビデオ1」、「ビデオ2」、「外部入力」など)に切り換える。 → ACアダプターが接続されているか確認する。ACアダプターが接続されていない場合、音声は出力されるが、映像は出力されない。
「メニュー」画面が出ない。	→ 「画面表示設定」で画面表示の出力先をテレビが接続されていない出力側に設定している。テレビを接続している出力端子を入れ換える(出力1に接続していれば、出力2に接続し直す。出力2に接続していれば、出力1に接続し直す)。

音声

症状	原因/対策
音声が出ない。音声がおかしい。	→ 音声コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 → 音声コードが断線していないか確認する。

リモコン

症状	原因/対策
リモコンが働かない。	→ 絶縁シートを引き抜く。 → 電池が消耗していないか確認する。 → リモコンを本機前面に向けて操作する。 → 本機に近づいてリモコンを操作する。

その他

症状	原因/対策
正常に動作しない。	→ 静電気などの影響があったため。電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度接続し直す。それでも正常に動作しない場合は、ACアダプターを抜いた状態で半日以上置いてから、再びACアダプターを接続し、電源を入れる(日付と時刻が出荷時の設定に戻るので、再設定する)。

症状	原因/対策
予約録画ランプ、シンクロ録画ランプが点滅している。	→ エラーが発生している。メニューボタンを押し、エラーメッセージを確認する。エラーメッセージを確認できない場合は、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度接続し直す。
本機や"メモリースティック"が熱くなる。	→ 本機が消費する電力の一部は最終的に熱に変換されるので、本機や"メモリースティック"がある程度熱くなる。異常ではありません。

エラーメッセージの一覧

エラー発生時に表示されるエラーメッセージは以下のとおりです。

メッセージ	原因/対策
「この"メモリースティック"を利用することはできません。別の"メモリースティック"と入れ換えてください。」	→ "メモリースティック"を抜く。
「この"メモリースティック"への書き込みは禁止されています。」	→ "メモリースティック"を抜く。
「この"メモリースティック"はフォーマットが必要です。 本機でフォーマットを行ってください。」	→ "メモリースティック"を抜く。 → "メモリースティック"をフォーマットする。
「ファイルがいっぱいです。不要なファイルを消去してください。」	→ "メモリースティック"を抜く。 → "メモリースティック"をフォーマットする。
「"メモリースティック"に録画可能容量がありません。」	→ "メモリースティック"を抜く。 → "メモリースティック"をフォーマットする。
「録画に失敗しました。"メモリースティック"を入れ直してください。」 「再度録画に失敗する場合は、本機で"メモリースティック"のフォーマットを行ってください。」	→ "メモリースティック"を抜く。 → "メモリースティック"をフォーマットする。
「録画最大時間に達したため録画を停止しました。」	→ 録画最大時間 6時間30分を超えた。
「著作権コンテンツのため録画することができません。」	→ 使用する"メモリースティック"を確認する（13ページ）。 → 録画できないコピー防止信号の入った番組を録画しようとした。

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、アルファベットと数字で4桁のサービス番号が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号	原因/対策
EXXXX（XXXXは任意の数）	→ 異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ● 電源を切ってACアダプターを抜き、もう1度接続し直す。それでも自己診断機能が働く場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。その際はサービス番号の4桁全てお知らせください。（例：E 61 10）

その他

使用上のご注意

ACアダプターについて

- ACアダプターはお手近なコンセントを使用してください。本機をご使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

縦置きで使用しない

本機は横置き専用です。縦置きで使用すると、故障の原因となります。

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに置かない

キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

異常に高温な場所に置かない

窓を閉めきった自動車内(特に夏期)などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になります。

傾いた場所で使用しない

本機は水平な場所で使用するように設計されているため、傾いた場所では正常に動作しないことがあります。

重い物を載せない

キャビネットを傷めたり、故障の原因になります。

ぶつけないように

持ち運ぶときは衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

キャビネットを傷めないために

表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげる原因になります。

設置場所について

次の場所に置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。(チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用時、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいため、屋外アンテナの使用をお勧めします。)

寒い場所から暖かい室内に持ち込んだとき

本機の内部に水滴がつくことがあります。このまま使うと本機を傷める原因となることがあります。また、エアコンなどの冷風が直接当たる場所で使うと、同様のことが起こりますのでご注意ください。

結露(露つき)について

結露は、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きている状態で使用すると、故障の原因になります。
結露がなくなるまで(約1時間)、そのままの状態(電源「入」時は「入」のまま、「切」時は「切」のまま、電源プラグをコンセントに差し込んでいないときは差し込まないまま)で、放置してください。

本機のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めるため使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書にしたがってください。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

2ページも合わせてお読みください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはお客様ご相談センターに交換をご依頼ください。

禁止

付属の電源コードやACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因になります。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはお客様ご相談センターにご相談ください。

禁止

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはお客様ご相談センターにご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災･感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。

移動させるとき、長時間使わないときは、ACアダプターを抜く

長時間使用しないときは安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

ACコードや接続ケーブルをACアダプターに巻きつけない

断線や故障の原因となることがあります。

通電中の本機やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

"メモリースティック"や付属品の電池などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらないようにご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池や付属品を取りはずすときは、手をそえる

電池などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ACアダプターを水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

ボタン型リチウム電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

ボタン型リチウム電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意

指定以外の電池を使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡電池の品番を確かめ、お使いください。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

“メモリースティック”について

“メモリースティック”とは？

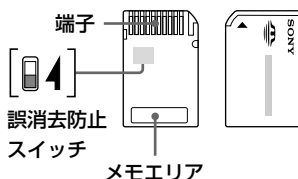
“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“マジックゲート”とは？

“MagicGate”（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。対応機器（本機など）と“メモリースティック”の間で、お互いに「記録･再生が正しく行えるか」を確認する認証、およびデータの暗号化が行われます。データの再生時も同様に認証が行われ、認証が成功した場合のみ暗号化以前のデータに戻され（複号化）、再生されます。認証された機器以外では、著作権保護されたデータは再生できません。

“メモリースティック”使用上のご注意

“メモリースティック デュオ”（別売）使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

誤消去防止スイッチの有無や位置、形状は、お使いの“メモリースティック デュオ”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 誤消去防止スイッチがついていない“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、消去しないようにご注意ください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  －読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  －静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  －使用条件範囲以外での場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱機器の近くなど）
  －湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

次のページにつづく

- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 本機で使用時に“メモリースティック”がある程度熱くなりますが、異常ではありません。

本機では2GB（MSX-M2GNU）までのソニー製“メモリースティック”で動作確認を行っています(2006年4月時点）。
全ての“メモリースティック”での動作を保証するものではありません。

最新情報は下記ホームページにて確認いただけます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou

主な仕様

システム

映像圧縮方式

MPEG-4 AVC

音声圧縮方式

MPEG-4 AAC

記録フォーマット

メモリースティックビデオフォーマット/メモリースティックセキュアビデオフォーマット

録画モード

AVC QVGA 768k

AVC QVGA 384k

映像信号

JEITA標準、NTSCカラー方式

入出力端子

LINE(映像・音声)入力

2系統

LINE（映像・音声）出力

2系統

電源

DC IN : 5V（付属のACアダプター専用）

その他

消費電力

6.5W

待機消費電力

2.0W

停電時刻保持時間

1回　30分以内

許容動作温度

5℃～35℃

許容保存温度

0℃～45℃

最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)

約215×35.2×150.5mm
(最大突起部含まず)

質量

本体　約530g

仕様および外観は、改良の為予告なく変更することがありますがご了承ください。

商標について

- PSP®「プレイステーション・ポータブル」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「PSP」および「プレイステーション」は同社の登録商標です。
- “メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“MagicGate（マジックゲート）”、および“MEMORY STICK”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 本文中に™、®マークは明記していません。
- AVC（Advanced Video Coding）は、国際標準化団体であるMPEG、ITU-Tとの共同標準化組織JVT（Joint Video Team）で策定され標準化された、MPEG4動画の高圧縮デジタル符号化技術です。
- 本製品に搭載されているフォントは、新ゴRの書体は株式会社モリサワより提供を受けており、この名称は同社の登録会社または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています。

消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

その他

保証書とアフターサービス

保証書は国内に限られています

このビデオレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かなと思ったら」(33ページ)を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはお客様ご相談センターにご相談ください(裏表紙)。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ 部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

■ 修理をお受けになる際は

修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

ソニー株式会社	●http://www.sony.co.jp/SonyDrive/ お客様ご相談センター ●ナビダイヤル 0570-00-3311 （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ●携帯電話・PHS　03-5448-3311 （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
〒141-0001 東京都品川区 北品川6-7-35	●FAX　0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00 土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan